

令和6年度 意思決定支援研修(実践編)アンケート結果

R7年2月10日開催分

1. 演習「パターナリズムと意思決定支援」について

有意義だった	29
有意義でなかった	0

2. 「利用者主体の環境の実現」について

有意義だった	29
有意義でなかった	0

3. 研修の内容について意見・感想など

- ・ 意思決定について とても勉強になりました
- ・ 皆さんと話ができてよかったです
- ・ 意思決定支援について考える機会になりました。ありがとうございました。
- ・ 多職種の方と意見交換ができました。今後の支援に活用していきます
- ・ グループワークの中での時間が短かったので、もう少し、情報交換する時間がほしいと思いました。
- ・ 意思決定の大切さと難しさがあらためてわかった
- ・ 重度の方など支援に迷いもありましたが、今の取り組み方でいいんだと自信ができました。
- ・ 利用者さんはかならず表出したい思いがある。その気持ちをどのようにすれば引き出せるか考えて続けなければならないと感じた。
- ・ すごく参考になりました。特に演習②では、4つのエンパワメントを実現させていてすごいなと思いました。是非普段どのような会議をしているのか、どのような支援をしているのか具体的な映像もしくは見学に行ってみたいと思いました。
- ・ 演習Iでは、よくある事例で、自分の中にある答え以外の意見を沢山聞いてよかった。演習IIでは、意思決定を意識するだけで、様々なエンパワメントができることが分かり希望を感じた。
- ・ 事例等を一緒に考えることができ、よかったと思う。やはり色々な考えを聞くことは大事だなと思います。
- ・ 普段の業務ではあまり経験しない事例を知ることができてとても勉強になりました。
- ・ 具体的な案件で話し合いが出来たので、分かりやすかったです。
- ・ 事例がまさに1番悩むケースだったので、他事業所さんのやり方や経験などを聞くことができて参考になった。
- ・ 違う事業所や支援の立場の方と話し合うことで、多くの気づきや、それぞれの工夫が知れました。新しく教えてもらった見方、ワードもあったので、自分の事業所で共有し、取り入れる機会があれば活用していきたいです。
- ・ それぞれ違う事業所・役割りでお仕事をされている方との意見交換は新鮮な意見もたくさんあり、有意義な時間となりました。
- ・ 意思決定の難しい人はどうしても意見の言える人、発言できる人に手を取られがちであり、意思表示の困難な人は支援者側が決めたことで対応しがちなため、関わりを増やすことで観察して変化を共有することの大切さを改めて認識できた。
- ・ メンバーの方にも恵まれてよかったです。講師のみなさまありがとうございました。
- ・ 他事業所の方と演習をすることで、意思決定や日々の支援の大切さ・関わり方についても考え直すことができた。
- ・ 研修を通して意思決定支援の重要性を深く認識でき、演習によって他事業所の事例や意見が参考になりました。
- ・ 軽度様の支援の応用で重度様の支援に活かせるという気づきや、意思決定支援を行う上で重度様だからと言って会議などには参加させないのではなく、ドンドンと会議などの場に参加して頂こうと思いました。
- ・ 具体的な内容の検討を色々な事業所の人と意見を言い合う機会が、貴重な時間と思いました。
- ・ 短時間ででしたが2ケースそれぞれの利用者の方への関わりをグループで話し合え、少人数でしっかり意見を出し合え話し合えたいい時間でした。また、講師の方の説明とまとめがシンプルで大事なことがわかりやすく心にさざりました。
- ・ 演習で色々な立場の方の意見を聞いて、自分では気が付かなかった意思決定支援を中心とした関わりを気がつくことができました。
- ・ 日常の何気ない言葉かけも意識していきたい
- ・ 各グループの発表のなかで、こんなことがあったり、支援したりと参考になりました。
- ・ 2時間の中でとても理解しやすい事例や、説明があり、無駄なく集中して取り組みました。短時間最高です！

4. その他、研修で希望する内容などのご要望

- ・ 日々の利用者様の行動などの記録
- ・ もっと利用者として行こうと思います
- ・ 色々な支援者と協力しながら、少しでも本人さんの希望に寄り添える支援を行う
- ・ 利用者さんが意思を表出できるような支援を心がけていきたいです。
- ・ 利用者様現状や希望を事業者様と一緒に確認し、想いが実現できるように支援していきます
- ・ 重度の方に対する支援について、記録を取っていくことなど、自分たちでできそうなことを具体的に話し合っていきたいと思えます。

- ・ 4つのエンパワメントを再意識しながら支援、会議をしていくように取り組んでいこうと思います
- ・ 利用者の情報収集の部分で、より出来ることはないかと取り組み、自分から発信したいと思います。ありがとうございました。
- ・ できるだけ時間をかけゆっくり話をきく。支援者みんなが同じ方向に向かい意思決定できるチーム作りをしなければならない。みんなのエンパワメントを引き出せるチーム作りをしたい。
- ・ 利用者さんに対して、〇〇しますよ、ではなく〇〇してもいいですか？と疑問形で聞くようにしてエンパワメントをしていきたいなと思いました。
- ・ 利用者さんの日々の様子を少しずつでもデータとして取っていき、支援に活かしていきたい。
- ・ 基本ですがやはり利用者の声に耳を傾けることは大事だなと思う。職員側の凝り固まった考えは排除するべきだなと思う。
- ・ 長く同じ方と関わっていると「こうだからこう思っているに違いない」と短絡的に決めつける時が出てきてしまうので、原点に立ち返り考えながらさらに踏み込んだ支援に繋がればいいなと思いました。
- ・ 利用者さん一人ひとりの、yes、noの反応をまとめ、情報を共有する。noの反応を示してことについては、無理強いしない。
- ・ 本人と一緒に考えて行くと言うことと、多角的な視点で考えることを念頭に今のままでいいのかと改めて各ケース考えてみる。
- ・ 「はい」は本当の「はい」ではないと思いつつも、バタバタとその日1日が終わってしまっていることも多々あります。1人1人、1つ1つのことにもっと目を向け、その方の反応や行動を見て、忙しさに流されず、職員で共有して向き合っていきたいと思います。
- ・ 本当に自身の意思を伝えていることができているのか、様子を意識しながら日々関わりたいと考えております。
- ・ 利用者の希望を聞く姿勢は継続し、鵜呑みにせず他の関係者と相談し情報共有して支援する。
- ・ 本人ときちんと向き合い、本人が自分の支援を決めることができるようにする。
- ・ 利用者さんとゆっくり向き合い話しをする
- ・ 日々、支援者側が意思決定支援の意識を持つことを共有していきたい。発言・視点の変化、発想・気づきに繋げていきたい。
- ・ 研修経験を活かし、事業所内職員での情報収集や情報共有の連携を強め、より良い支援を目指していきます。
- ・ 本人の本質はなにか？伝えたい事は何か？を支援者がだまかに決めるのではなく、もっと深く考え、本人と一緒に結論付けようと思います。本人に交えた会議や聞き取りを一回の会議、ヒアリングが短くても細かく何回も回数をしようと思います。
- ・ どうしたいのか、どう思っているのか職員全体で感じるように共有し、よりよい支援につなげたい。
- ・ 利用者の方への丁寧な伝え方や説明、意思表出できるようご本人の気持ちを確認することなど、基本的なことを大切に利用者の方にかかわりながら取り組んでいきたいと心新たに思っています。いろいろな意見や気づきを職員皆で出し合っていきたいと思います。それが出来るように取り組んでいきます。
- ・ 意思決定の時にまずは本人の理解度を確認する必要があると感じたので、伝え方を工夫してまず理解してもらい、意思を表出できるように関わりを意識していきたいです。
- ・ 本人が言いたいこと、したいことを、受け入れられるよう努力する
- ・ 会議等での利用者さんの、ハイは本当なのか、今後注意深く見ていきたい
- ・ 本人さんへの働きかけを、関係者が情報共有して新たな意思決定としての発見につなげていきたいと思います。まずは、できることを継続して取り組んでいきたいと思っています。